

# 生体運動合同班会議

1993年 1月 6、7、8日  
 椋山女学園大学 大学会館3階 大会議室

## 1. 講演者へのお願い

- 1) 講演8分、質疑討論2分です。
- 2) 講演を終わった方は次の講演の座長をお願い致します。
- 3) 一講演のスライドは8枚です。  
 予めお渡ししますホルダーにセットし、点検を済ませてスライド係にお渡し下さい。
- \* 多数の演題をいただき、複数の演題をいただいたグループは順位の低いものをポスターにまわってもらわざるを得なくなりました。お許し下さい。口頭発表の時にポスターの紹介を加えて下さってもけっこうです。但し、スライドは全部で8枚です。
- \* P1とかいた演題は6日正午にポスター掲示が出来ます。7日昼休みに撤去して下さい。P2とかいた演題は7日昼休みに掲示出来ます。8日午後1時30分に撤去して下さい。

## 2. 昼食

学内の食堂は開いておりません。周辺の味マップを受付に用意してあります。ご利用下さい。

## 3. 懇親会

1月7日(第二日目)講演終了後7時より、地下鉄「池下(イナガ)」の厚生年金会館で行います。是非ご参加下さい。お申し込みの方は必ず出席して下さい。申し込みを忘れた方もうけつけます。会費五千円は受付の際にお払い下さい。

\*ビール券、ウイスキー、地方特産酒等のさし入れ歓迎。

## 4. 研究連絡会議

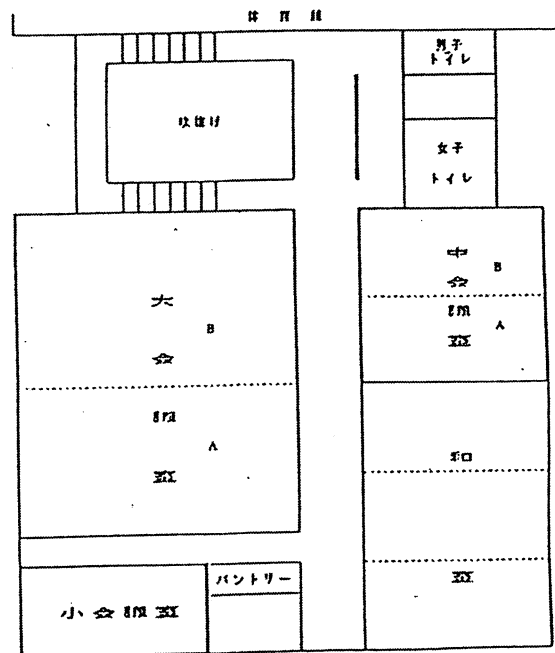
1月7日昼食時、大学会館3階中会議室(講演会場隣)で行います。

班員(御橋、小浜、馬淵班・班員)、班友(以前班長・班員だった方)の方々は全員ご出席下さい。

昼食を申し込んだ方は弁当があります。申し込んで代金未払いの方は千円をご支払い下さい。

- \* クロックは開きませんので手荷物は少な目に。
- \* トイレは各階に同様に配置されています。
- \* 駐車場は有りません。車でのご来場はお控えください。

大学会館3階平面図



# 1993年生体運動班合同班会議プログラム

1月6日(水)

(12:30 - 14:30)

1. 筋ジストロフィー症マウスの筋炎  
戸塚 武(愛知県心身障害者コロニー)
  2. ジストロフィン結合タンパク質(A2, A3)はDMD筋に残っている  
吉田幹晴、水野裕司、埜中征哉、小沢倅二郎  
(国立精神・神経センター)
  3. アンチセンスDNAを用いたジストロフィン機能の解析  
張 学軍、野呂信弘、桜井 隆、大見和宏、中村清二、野々村禎昭  
(東京大学医学部第一薬理)
  4. 抗体反応性からみた脊椎動物骨格筋リアノジン結合タンパク質の多様性  
村山 尚、小川靖男(順天堂大医学部薬理)
  5. 2枚貝閉殻筋SRの構造  
松野 輝、石田秀樹、城里生はづき、中西さおり(島根大学理学部生物)
  6. 単離平滑筋細胞内all-or-noneカルシウム放出  
山澤徳志子、飯野正光、遠藤 實(東京大学医学部第二薬理)
  7. 培養心筋細胞の収縮とCa-transient  
松村幹郎(川崎医大生理)
  8. ウニ卵細胞内膜に存在するカルシウムイオン遊離機構  
山根律子、黒田 律、漆畑信之、黒田英世(富山大学理学部生物)
  9. 高分子量多機能プロテアーゼ(プロテアソーム)の精子鞭毛への局在  
稲葉一男、森沢正昭(東京大学理学部臨海)
  - (P1) 精子運動開始に伴う膜電位の変化  
高井裕之、森沢正昭(東京大学理学部臨海)
  10. カエル骨格筋単一線維における興奮収縮連関input siteとcaffeine拘縮  
有馬利昭、長谷川千史、藤野和宏<sup>1</sup>、原野貴美江、高橋雅幸<sup>2</sup>  
(防衛医大第一生理、<sup>1</sup>北海道薬科大学、<sup>2</sup>防衛医大歯科口腔外科)
  11. TNP-ATP標識骨格筋繊維の張力および蛍光トランジェント  
山田和廣、江本由美子、堀内桂輔(大分医科大学生理)
  12. ザリガニはさみ筋の巨大サルコメアにおける弾性フィラメント  
真鍋 匡、川村勇樹、樋口秀男<sup>1</sup>、木村澄子、丸山工作  
(千葉大学理学部、<sup>1</sup>新技団)
- (14:40 - 16:40)
13. 速筋・遅筋キメラ筋繊維の形成  
平林民雄、姚 遙(筑波大学生物科学系)

14. 筋繊維のDouble-Hyperbolic Load-Velocity Relationについての考察  
 眞島利和(電子技術総合研究所)
15. 新しい2次元検出器を用いた骨格筋×線回折パターンリアルタイム観察  
 八木直人<sup>1</sup>、雨宮慶幸<sup>2</sup>、若林克三<sup>3</sup>  
 (<sup>1</sup>東北大学医学部薬理、<sup>2</sup>高エネルギー研・放射光、<sup>3</sup>大阪大学基礎工生物)

Time resolution  
 1/30 sec.

16. 筋原線維収縮の精密測定  
 本多 元(長岡技術科学大学生物系)

17. 筋収縮におけるミオシンサブフラグメント-2の役割  
 杉 晴夫、小林孝和、野口一成(帝京大学医学部生理)

18. アクチン・ミオシン間の滑りと滑り力発生に及ぼすミオシンサブフラグメント-2の影響  
 土屋禎三<sup>1</sup>、田中廣光<sup>2</sup>、杉 晴夫(<sup>1</sup>帝京技術科学大、<sup>2</sup>帝京大学医学部生理)

18. 数分子のHMMとF-アクチンによって発生する力の、光ピンセット法を用いた測定  
 箱崎博之<sup>1</sup>、鈴木直哉<sup>1</sup>、宮田英威<sup>2</sup>、西坂崇之<sup>2</sup>、石渡信一<sup>2</sup>、木下一彦<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>慶應大学理工学物理、<sup>2</sup>早稲田大学理工学物理)

- (P1) 光ピンセット法により測定した単一アクチンフィラメントの滑り力とその揺らぎ  
 西坂崇之<sup>1</sup>、鈴木直哉<sup>2</sup>、箱崎博之<sup>2</sup>、宮田英威<sup>2</sup>、石渡信一<sup>1</sup>、木下一彦<sup>2</sup>  
 (<sup>1</sup>早稲田大学理工学物理、<sup>2</sup>慶應大学理工学物理)

19. トリプシンでニックを入れたSIのin vitro motility  
 豊島陽子(お茶の水女子大学理学部)

20. タンパク質分子モーターによるin vitro滑り運動: その軌跡の新しい解析方法  
 大和田勝久、今福泰浩(九州大学理学部生物)

- (P1) In vitro滑り運動の軌跡解析から求めた運動の揺らぎ  
 今福泰浩<sup>1</sup>、豊島陽子<sup>2</sup>、大和田勝久<sup>1</sup>(<sup>1</sup>九州大学理学部生物、<sup>2</sup>お茶の水女子大理学部)

- (P1) ミオシンの2つの頭部の不均一性の検証  
 小松英幸<sup>1</sup>、大和田勝久<sup>2</sup>(<sup>1</sup>九州大学医学部分子生命、<sup>2</sup>九州大学理学部生物)

21. ミオシン分子方向依存の力とミオシンステップサイズ  
 石島秋彦、小嶋寛明、青木高明、斎藤 究、原田慶恵、柳田敏雄  
 (大阪大学基礎工、本田R&D, ERATO・BIO-MOTRON Project)

22. 一本のアクチンフィラメント上での重合ダイナミクスの直視  
 忠重純子、西坂崇之、石渡信一(早稲田大学理工学物理)

23. AIF4<sup>-</sup>・ADP・HMMとアクチンの滑り運動  
 綱谷一郎、安藤敏夫(金沢大学理学部物理)

ATP analogue  
 AIF4<sup>-</sup>・ADP・HMMは actin activationを促進する、  
 activated actinを動かすことができる。  
 と考える。

- (P1) 励起アクチンモデルの数学的解析  
 安藤敏夫、中山繁雄(金沢大学理学部物理)

24. ATD/GTPによるアクチンミオシン運動再構成系(II)  
 小田俊郎、御橋広真(名古屋大学理学部)

で、力学的な抵抗がある場合、  
 実際には

(P1) 滑り速度の加算性  
御橋広真、小田俊郎(名古屋大学理学部)

( 1 6 : 5 0 - 1 9 : 3 0 )

25. ミオシン頭部(S1)吸着マイカ間の表面分子間力測定  
羽藤正勝、上村慎治<sup>1</sup>、豊島陽子<sup>2</sup>(織高研、<sup>1</sup>東大教養生物、<sup>2</sup>お茶大理)

(P1) Zn・シートとキネシンの相互作用  
上村慎治<sup>1</sup>、E. Mandelkow<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京大教養生物、<sup>2</sup>マックスプランク研究所)

26. 疎水親水転移に基づくアクトミオシン滑りモデル  
鈴木 誠(工業技術院機械技術研究所)

27. ミオシントランスジューサの構造ダイナミクス/エナジェティクス相関  
若林克三<sup>1</sup>、児玉孝雄<sup>2</sup>(<sup>1</sup>阪大・基礎工、<sup>2</sup>九工大生物化学 システム工学)

28. SOR光を用いたHMM, Trp, Tyr Powderの低温領域での蛍光寿命変化  
加藤真也、谷口美恵子(名古屋大学理学部物理)

(P1) プロトプラストの電気融合過程におけるアクチン線維の光学及び超高圧電子顕微鏡観察  
谷口美恵子、有井達夫<sup>1</sup>、Salak Phansiri<sup>2</sup>、光岡信貴、山本浩一、谷口 武<sup>2</sup>  
(名古屋大学理学部物理、<sup>1</sup>岡崎生理学研究所、<sup>2</sup>名古屋大学農学部資源生物)

29. 蛍光エネルギー移動でみた筋肉の細いフィラメントの構造変化のキネテックス  
三木 正雄<sup>1</sup>、飯尾隆義<sup>2</sup>(<sup>1</sup>福井大学工学部、<sup>2</sup>名古屋大学理学部)

30. 蛋白質内高エネルギーの伝播・長期貯蔵の動力学モデル  
浅井 博(早稲田大学理工学部)

31. ナノフィラメント系の運動のしくみ  
佐藤英美(長野大学産業社会学部)

32. フラジェラ・フラジェリンの断熱圧縮率  
田村陽次郎(鈴鹿高専物理)

33. Gアクチン中に存在するフィラメントについて  
一海孝光<sup>1</sup>、近藤博司<sup>2</sup>(<sup>1</sup>愛知県立芸大、<sup>2</sup>名古屋大学理学部分子生物)

34. トロンビン刺激による豚血小板actin/profilin complexの解離因子の解析  
伊藤忠直(京都大学理学部生物物理)

35. キメラ・アクチン分子の解析  
広野雅文、須藤和夫<sup>1</sup>、渡辺良雄<sup>2</sup>、大野忠夫  
(理研・細胞銀行、<sup>1</sup>東京大学教養、<sup>2</sup>筑波大学生物)

36. EF-1 $\alpha$ と同定されたテトラヒメナ14nm繊維結合蛋白質の精製と性状の検討  
倉沢靖博、沼田 治、渡辺良雄(筑波大学生物科学系)

37. アクチンの9.1-kDaゼグメント(Ser<sup>199</sup>~Tyr<sup>279</sup>)のアクチン-アクチン結合への寄与  
堀浩一郎<sup>1</sup>、盛田フミ<sup>1</sup>、伊藤利章<sup>2</sup>、高橋興威<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>北海道大学理学部化学第二、<sup>2</sup>北海道大学農学部畜産)

38. アクチン・デスミンに作用する平滑筋の33kDペプチド  
大橋一世、中川裕之(千葉大学理学部生物)

39. 骨格筋筋原線維のデスミン網目構造  
黒田正明<sup>1</sup>、神宮司洋一<sup>2</sup>、藤原敬巳<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>島根大学理学部、<sup>2</sup>国立循環器病センター・形態)

40. ゲルゾリンとアクチン2量体  
土居幸雄(京都女子大学食物学科)

( 1 9 : 3 0 - 2 0 : 3 0 )  
ポスター発表 (P1)

Biophys. J.  
Yamada & Watanabe  
proof preparation  
1977. (1st ed)  
pp. 135~140.

1 月 7 日 (木)

( 9 : 0 0 - 1 0 : 3 0 )

41. ミオシンの2つの頭部の構造  
村井 晋(大阪大学理学部生物)

42. 難重合性アクチンモノマーを用いたミオシン頭部のアクチン結合部位の検索と可視化  
荒田敏昭(大阪大学理学部生物)

43. ミオシン頭部への新たな修飾部位の導入  
山川 央、須藤和夫<sup>1</sup>、若林健之  
(<sup>1</sup>東京大学理学部物理、<sup>1</sup>東京大学教養基礎一)

44. 合成アクチンペプチドによるアクトミオシンATPase反応の阻害  
岡本 洋、帆保彰久(室蘭工大工学部応用化学生物工学)

45. EDC修飾により電荷を変えたミオシンロッドのフィラメント形成能  
加藤早苗、今野久仁彦(北海道大学水産生物化学)

46. ショウジョウバエのミオシン軽鎖キナーゼ遺伝子のクローニング  
孤嶋慎一郎、堀田凱樹(東京大学理学部物理)

47. 粘菌変形体におけるミオシンの局在  
石上三雄、荻原 哲、徳安清輝  
(滋賀大学教育生物、大阪大学教養生物、カリフォルニア大学サンディエゴ校生物)

48. 植物ミオシンの精製と解析  
横田悦雄、新免輝男(姫路工業大学理学部生命)

ユリ花粉管 → 170k = motility  
= actin-activated MgATPase  
thick filament (16 作) 等。

49. 車軸藻モーター蛋白質  
藤目杉江(名古屋大学理学部)

motility があつた。170kは、225k protein の5%。

( 1 0 : 4 0 - 1 2 : 0 0 )

50. 車軸藻のモータータンパク質  
山本啓一<sup>1</sup>、菊山宗広<sup>2</sup>、上坪英治<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>創価大学工学部、<sup>2</sup>放送大学生物、<sup>3</sup>一橋大学生物)

50k, (80k) protein(s)

anti-50k → motility inhibited.  
↳ Western blot { 105k  
50k

- Amelida
51. 無脊椎動物のミオシン  
神沢信行<sup>1</sup>、大室弘美<sup>2</sup>、丸山工作<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>千葉大理学部、<sup>2</sup>東京大医学部 )
  52. 好中球のミオシン分子種  
大室弘美、小浜一弘<sup>1</sup>、遠藤 貢  
(東京大学医学部第二薬理、<sup>1</sup>群馬大学医学部薬理)
  53. マウスビメンチン遺伝子のクローニングと骨髄性白血病細胞分化に伴うその発現調節  
中村暢宏、永田和宏(京都大学胸部疾患研究所細胞生物学)
  54. マクロファージのガラス接着時の細胞骨格変化  
尾野道男、村上 徹、石川春律(群馬大学医学部第二解剖)
  55. ミオシンは多細胞の多機能に重要な役割を果たしている  
野々村禎昭、湯田康勝<sup>1</sup>、松田 譲<sup>2</sup>  
(東京大学医学部薬理、<sup>1</sup>明治製薬総合研、<sup>2</sup>協和発酵東京研)
  56. クロマフィン細胞からの開口放出に対する wortmannin の抑制作用  
桜井隆<sup>1</sup>、今泉美佳<sup>2</sup>、中村清二<sup>1</sup>、中西総<sup>2</sup>、松田譲<sup>3</sup>、熊倉鴻之助<sup>2</sup>、野々村禎昭<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>東京大医学部薬理、<sup>2</sup>上智大生命研、<sup>3</sup>協和発酵東京研 )  
*MLCK inhibitor (very specific!)*
  - (P1) マクロファージの貪食と細胞運動に及ぼす wortmannin の影響  
大見和宏<sup>1</sup>、中村清二<sup>1</sup>、桜井隆<sup>1</sup>、山沢徳志子<sup>1</sup>、吉塚直伸<sup>2</sup>、野々村禎昭<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>東京大医学部薬理、<sup>2</sup>花王基礎研 )
  - (P1) ミオシン軽鎖キナーゼ特異的阻害剤(wortmannin)のラット耳下腺からのアミラーゼ分泌への効果  
久保田楓<sup>1,2</sup>、桜井隆<sup>1</sup>、山沢徳志子<sup>1</sup>、飯野正光<sup>1</sup>、中西総<sup>2</sup>、松田譲<sup>3</sup>、土屋隆英<sup>2</sup>、野々村禎昭<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>東京大医学部薬理、<sup>2</sup>上智大理工学部化学、<sup>3</sup>協和発酵東京研 )
  57. 牛胃MLCKの一次構造とアクチンとの相互作用  
桑山秀人<sup>1</sup>、田中健志<sup>2</sup>、井上明宏<sup>3</sup>、杉浦全代<sup>2</sup>、江橋節郎<sup>3</sup>  
( <sup>1</sup>帯広畜産大・化学、<sup>2</sup>埼玉赤十字センター、<sup>3</sup>岡崎国立共同研究機構 )

( 1 2 : 0 0 - 1 : 0 0 )

研究連絡会議 (班員・班友の方はお集まり下さい)、及びポスター張り替え

( 1 3 : 0 0 - 1 4 : 3 0 )

58. 平滑筋収縮及び調節タンパク質の調製法補遺  
江橋節郎(岡崎国立共同研究機構)  
*平滑筋 → S2c 細胞 → myosin filament aggregation*
59. 平滑筋ミオシンとカルデスモンとの相互作用  
片山栄作、池辺光男<sup>1</sup>  
(東京大・医科研・微細形態、<sup>1</sup>ケース・ウェスタン・リザーブ大・医・生理)
60. 内膜肥厚血管において、ミオシン軽鎖2重リン酸化反応の活性化がおこる  
瀬戸 実、佐々木泰治  
(旭化成・ライフサイエンス総合研究所薬理第一研究所)

- (P2) 血管平滑筋細胞の細胞内カルシウム動態とミオシン軽鎖リン酸化反応  
佐々木泰治、瀬戸実  
(旭化成・ライフサイエンス総合研究所薬理第一研究所)
61. カルボニンcDNAの導入による血管平滑筋の増殖、遊走抑制  
高橋克仁、柴田宣彦(大阪府立成人病センター研究所第5部、第一内科)
62. ウシ動脈カルボニンの電子顕微鏡像  $M_r = 37$  千、球状  $\alpha$ -actinin  $\alpha$ -helix 含量 18%  
竹内喜久子<sup>1</sup>、荒田敏明<sup>2</sup>、片岡幹雄<sup>2</sup> (<sup>1</sup>愛媛医療短大、<sup>2</sup>大阪大理学部) { TML 結合 }  
Actin
63. カルボニンによる平滑筋収縮蛋白質の調節機構  
中充子、三野照正、中村文明、山本順一、小青趙、田中利男(三重大医学部薬理) ) 18% とある
64. 脊椎及び無脊椎動物横紋筋原線維のCa感受性ATPase活性におけるtroponin C 置換の影響  
中村雄介、白石富美恵、大槻啓男(九州大医学部臨床薬理)
65. 標的遺伝子導入法によるトロポニン欠失筋細胞作成の試み  
豊田直二(千葉大医学部解剖)
66. 脊椎動物骨格筋トロポニンとホタテ貝トロポニン様蛋白質の性質の生化学的比較検討  
矢沢洋一(北海道教育大旭川分校)
- ( 1 4 : 4 0 — 1 6 : 0 0 )
67. 骨格筋トロポミオシンのisoformの性質  
金井剛、伴好彦、山口正弘(順天堂大体育学部栄養生化学)
68. 鶏心筋型C蛋白質のcDNAクローニングと発現  
安田昌弘、阿部洋志、大日方昂(千葉大理学部生物)
69. 低Ca<sup>2+</sup>感受性 $\alpha$ -actininの血管内皮細胞における発現  
今村道博<sup>1</sup>、桜井武<sup>1</sup>、小川昌克<sup>1</sup>、後藤勝年<sup>1</sup>、真崎知生<sup>2</sup> (<sup>1</sup>筑波大基礎医学系、<sup>2</sup>京都大医学部薬理)
- (P2) ニワトリ骨格筋細胞におけるホスホフルクトキナーゼの局在  
入江潤<sup>1</sup>、今村道博<sup>1</sup>、粕谷善俊<sup>1</sup>、田中建志<sup>2</sup>、後藤勝年<sup>1</sup>、真崎知生<sup>2</sup> (<sup>1</sup>筑波大基礎医学系、<sup>2</sup>埼玉血液センター、<sup>3</sup>京都大医学部薬理)
- (P2) Alternative splicingにより発現する2種類の $\alpha$ -actinin分子種  
小川昌克<sup>1</sup>、今村道博<sup>1</sup>、桜井武<sup>1</sup>、後藤勝年<sup>1</sup>、真崎知生<sup>2</sup> (<sup>1</sup>筑波大基礎医学系、<sup>2</sup>京都大医学部薬理)
70. アクチン切断蛋白質アドセバリンcDNAのクローニングとその大腸菌における発現  
中村清二、桜井隆、野々村植昭(東京大医学部薬理)
71. 培養線維芽細胞におけるコフィリンの局在とリン酸化  
阿部洋志、岡田香子、大日方昂(千葉大理学部生物)

- (P2) 筋細胞に導入された外来性コフィリンの作用  
長岡利栄、斧正一郎、草野賢一、阿部洋志、大日方昂 (千葉大理学部生物)
72. 骨格筋Z線の無定形マトリックスを構成するリン脂質について (M-lineの脂質組成)  
高橋興威、安東賢、池重龍 (北海道大農学部畜産) *→ M-lineの脂質組成*
73. アクチンフィラメントと細胞膜の結合様式: ERM family 結合蛋白質の同定 1301  
月田早智子<sup>1</sup>、佐藤成樹<sup>1</sup>、月田承一郎<sup>1</sup>、相良淳二<sup>2</sup>、河合明彦<sup>2</sup> (<sup>1</sup>生理学研究所、<sup>2</sup>京都大薬学部)
74. 中間径フィラメントの機能調節機構-フィラメント構成蛋白質の細胞内リン酸化・脱リン酸化反応の可視化  
稲垣昌樹<sup>1</sup>、松岡洋一朗<sup>2</sup>、楠畑雅<sup>1</sup> (<sup>1</sup>都立老人研神経生理、<sup>2</sup>三重大医学部病理)
- (16:10-17:50)
75. タウプロテインキナーゼIIによるニューロフィラメント蛋白のリン酸化  
久永真市<sup>1</sup>、石黒孝一<sup>2</sup>、内田庸子<sup>2</sup>、奥村英一<sup>1</sup>、岡野孝幸<sup>1</sup>、岸本健雄<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東工大生命理工、<sup>2</sup>三菱化成生命科学研究所)
76. 細胞質分裂における低分子量G蛋白質の関与  
馬淵一誠<sup>1</sup>、浜口幸久<sup>2</sup>、藤本宏隆<sup>1</sup>、三嶋將紀<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京大教養生物、<sup>2</sup>東工大理学部)
- (P2) 細胞分裂に伴うウニ卵抽出液中のミオシン軽鎖リン酸化活性の変動  
三嶋將紀、馬淵一誠 (東京大教養生物)
77. 細胞分裂とMLCK  
細谷浩史 (広島大理学部動物)
78. アフリカツメガエルの卵割溝非収縮突然変異  
久保田洋<sup>1</sup>、久保田真理<sup>2</sup> (<sup>1</sup>京都大理学部動物、<sup>2</sup>関西医大第一解剖)
79. ニワトリ胚動脈内皮細胞の細胞分裂  
神宮司洋一、藤原敬己 (循環器病センター循環器形態部)
80. 分裂酵母スピンドル極体の微小管形成能: 分裂期特異的活性化機構  
升田裕久 (理化学研究所バイオデザイン)
81. MPFの微小管への結合とそのダイナミックスの制御  
大方香代子<sup>1</sup>、久永真市<sup>1</sup>、室伏拡<sup>2</sup>、伊藤知彦<sup>3</sup>、宝谷絃一<sup>3</sup>、奥村英一<sup>2</sup>、立花和則<sup>2</sup>、岸本健雄<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東工大生命理工、<sup>2</sup>東京大理学部、<sup>3</sup>帝京大理工)
82. MPF依存性の微小管切断因子  
椎名伸之、後藤由季子、西田栄介 (東京大理学部生物化学)
83. MAP2のリン酸化による微小管動態の制御  
伊藤知彦<sup>1</sup>、久永真市<sup>2</sup>、細井智子<sup>2</sup>、岸本健雄<sup>2</sup>、宝谷絃一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>帝京大理工学部、<sup>2</sup>東工大理工)
84. 単極紡錘体における染色体運動の解析 (中期を中心に)  
伊藤光二<sup>1</sup>、増田道隆<sup>2</sup>、佐藤英美<sup>3</sup> (<sup>1</sup>名古屋大理学部、<sup>2</sup>循環器病センター、<sup>3</sup>長野大)  
*monopolar spindle - 2細胞の紡錘体は互に同じ染色体物種が動く。*



( 1 7 : 5 0 — 1 8 : 2 0 頃 )

ポスター発表 ( P 2 ) 、その後懇親会場へ。約 2 5 分かかります。

( 1 9 : 0 0 — 2 1 : 0 0 )

懇親会

1 月 8 日 ( 金 )

( 9 : 0 0 — 1 0 : 3 0 )

85. ラット脳の発達に伴う動的微小管と安定微小管を構成するチューブリンアイソタイプの変化  
斎藤良一、新井孝夫 ( 東京理科大応用生物 )
  86. チューブリン抗体と微小管との相互作用  
岡美佳子<sup>1</sup>、浜口幸久<sup>2</sup>、新井孝夫<sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 共立薬科大、<sup>2</sup> 東工大、<sup>3</sup> 東京理科大 )
  87. 繊毛軸糸 A キナーゼ活性と繊毛打方向制御との関係  
小川徳重、野口宗憲 ( 富山大理学部生物 )
  88. 精子細胞における細胞質ダイニンの局在とその役割  
吉田利通、吉井セルジオ、今中-吉田恭子、伊豆津公作 ( 三重大医学部病理 )
  89. 外腕ダイニンの頭の数を超薄切片でみる  
毛利秀雄<sup>1</sup>、入江美代子<sup>1</sup>、椎名順子<sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 放送大学、<sup>2</sup> 日本女子大 )
  90. ダイニン外腕と軸糸微小管の結合に関与した新しい因子  
高田左恵子<sup>1</sup>、神谷律<sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大理学部分子生物、<sup>2</sup> 東京大理学部動物 )
  91. 真核生物のべん毛はなぜ一平面内で屈曲するものが多いのか  
平本幸男 ( 放送大 )
  92. ウニ精子鞭毛運動時の微小管滑り速度に対する ATP 濃度の効果  
真行寺千佳子<sup>1</sup>、吉村建二郎<sup>1</sup>、I. Gibbons<sup>2</sup>、高橋景一<sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東京大理学部動物、<sup>2</sup> ハワイ大、<sup>3</sup> 国際基督教大 )
  93. ムラサキイガイ精子先体蛋白質の解析  
高木尚 ( 東北大理学部生物 )
- ( 1 0 : 4 0 — 1 2 : 2 0 )
94. 運動精子鞭毛の  $Ca^{2+}$  による形態変化  
石島純夫、浜口幸久 ( 東工大理学部生物 )
  - ( P 2 ) 移植した中心体が分裂期につくる星状体  
佐伯知明、浜口幸久 ( 東工大理学部生物 )
  95. 哺乳類精子鞭毛中の微小管滑り運動の調節  
妙玉明、奥野誠 ( 東京大教養生物 )

96. 腸内細菌の運動と沈降現象  
土橋敏明、吉越昭夫、坂西明郎（群馬大工学部）
97. 魚類の色素胞の運動性反応  
藤井良三、大島範子（東邦大理学部生物分子科学）
98. クラミドモナス鞭毛の中心小管について  
石井紀子、三木（能村）堆子（お茶の水大理学部）
99. クラミドモナスのグアニン外腕部分欠損変異株の単離と解析：短いβ重鎖を持つ外腕の構造と機能  
榎原育<sup>1</sup>、高田左恵子<sup>2</sup>、神谷律<sup>3</sup>、中山治人<sup>1</sup>（<sup>1</sup>通信総研、<sup>2</sup>名大理学部、<sup>3</sup>東大理学部）
100. 車軸藻類節間細胞における原形質流動原動力の測定  
上坪栄治<sup>1</sup>、菊山宗弘<sup>2</sup>（<sup>1</sup>一橋大生物、<sup>2</sup>放送大生物）
101. 移動中の細胞の仮足先端に濃縮する膜成分  
瀬崎博美（大阪大教養生物）
- (P2) シュジクソウのモーター蛋白質：運動阻害をおこす部位特異的抗体を用いた解析  
松村美紀（大阪大教養生物）
- (P2) フィザルム・アメーバ細胞の走化性応答：移動方向の正しい選択は微小管に依存している  
上田昌宏（大阪大教養生物）
102. GTP分解によるtRNAの移動の機構  
長野晃三（東京大薬学部）
103. 原形質流動の軌道としてのマイクロフィラメント束配列安定化機構  
柳政和、高木慎吾、永井玲子（大阪大教養生物）
- (P2) オオセキシウモ表皮細胞における葉緑体の光定位運動  
蕪夏静、高木慎吾、永井玲子（大阪大教養生物）

( 1 2 : 2 0 — 1 : 3 0 )

ポスター発表（P2）、つづき。

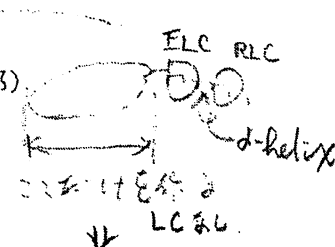
# プログラムの訂正・追加

1月6日 19:30-19:40 (演題40の後)

変異アクチン・変異ミオシン  
齋原正明、板倉真司、須藤和夫 (東京大学教養部)

19:40-20:30

ポスター発表 (P1)



- Actin-activated MgATPaseあり
- motility -今のところ動かない

1月7日 17:50-18:00

事務連絡

- 1) 熊谷先生と生体運動班 (江橋節郎)
- 2) その他

18:00-18:20頃

ポスター発表 (P2)

5 (ml) Ca motility